



校長だより

令和8年4月7日 第1号

令和8年度 始業式「式辞」

2、3年生の皆さん、進級おめでとうございます。いよいよ新年度が始まりました。今、皆さんはそれぞれ決意を新たに、この日を迎えていることと思います。私も同じ気持ちでこの場に立っています。その思いを大切にしながら、共に頑張っていきましょう。

2年生の皆さんは、今日から「先輩」です。

これまで、「こんな先輩になりたい」「こんな先輩は素敵だ」と感じながら過ごしてきたことでしょう。これからは、皆さんが見られる立場になります。後輩から信頼され、尊敬される先輩になってほしいと思います。

3年生の皆さんは、最上級生です。

学校行事や部活動、そして日々の授業においても、「さすが3年生」と言われるような活躍を期待しています。

また、進路を決める大切な一年でもあります。先生や保護者の意見に耳を傾けることは大切ですが、最後に決めるのは自分自身です。来年3月、後悔のないよう、一日一日の積み重ねを大切にしてください。

さて、新しい一年の始まりにあたり、二つのことをお話しします。

一つ目は、目標を立て、その実現に向けて努力を続けてほしいということです。

今年2月、ミラノ・コルティナ冬季オリンピックが開催され、フィギュアスケート・ペアで金メダルに輝いた「りくりゅうペア」は、インタビューで次のように語っていました。「諦めない強い気持ちは、階段となって頂上まで連れて行ってくれる。」前日のショートプログラムでは5位でしたが、フリーでは世界歴代最高得点を記録し、大逆転で優勝を果たしました。

「報われない努力はあっても、無駄な努力はない」と言われます。皆さんも、自分の成長のために目標を立て、決して諦めず努力を続けてください。

二つ目は、自分の「一番」を見つけてほしいということです。

自分の良さを自分自身が認め、「自分にはこんな良いところがある」と気づくことが大切です。そこから自信が生まれます。その自信は、朝顔の種が芽を出し、やがて大きく育ち、花を咲かせるように、少しずつ大きくなっていきます。

しかし、思うようにいかなかったり、何度挑戦してもうまくいかなかったりすることもあるでしょう。そんな時こそ、「自分にはこれが一番だ」と思えるものがあれば、自分を励ますことができます。

「挑戦した回数は誰にも負けない」「立ち上がる速さが一番だ」そんな一番も、立派な強みです。

「十人十色」という言葉があります。

人それぞれ、色も形も違う花を咲かせます。どんな花でも構いません。それぞれが自分らしい花を咲かせてください。

この一年、皆さん一人一人が、それぞれに素敵な花を咲かせてくれることを、心から楽しみにしています。